

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	国語	科目	古典B	単位数	2	学年	3年	類型	カレッジコース
教科書	新編古典B			副教材	新編古典B 学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点					学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				①			④	⑤	学習のねらい	
1 学期	4	随筆を味わう	枕草子 三大随筆『枕草子』について知る	◎				○	1学期には「枕草子」や「伊勢物語」等の平安時代の文学について、読み味わいます。登場人物についてまとめたり時代背景について調べたりして、読みを深めていきます。 2学期には、諸子百家の思想について読んでいきます。漢文の返り点など基本的なことを押さえながら、読み進めていきます。古文では、「大鏡」や「古今著聞集」「無名抄」を読んでいきます。日本史に登場する人物にも触れながら読み味わっていきます。 3学期には、「源氏物語」を読みます。世界最古の長編女流文学を楽しく読んでいきます。	
	5		枕草子 作者のものの方や考え方を知る	○				◎		
				”				◎ ○		
	6		小話を読む	小話 故事の背景を知り、漢文に親しむ	◎					○
				”						○ ◎
			物語を楽しむ	伊勢物語 物語の内容を叙述に即して読み取る	◎					○
7			”					◎ ○		
			”					◎ ○		
			”					◎ ○		
2 学期	8		”						学習の目標	
			”							
	9	歴史物語を読む	大鏡 本文を正しく読解し、登場人物の心情を考える	◎					○	
			”	○					◎	
	10	史記を味わう	” 登場人物の行動や心情について考える						○ ◎	
			”	中間調査	○				○ ◎	
			”	”					○ ◎	
	11	歌話を読む	古今著聞集・無名抄 歌人の生き方やものの方を理解する	◎					○	
			”						○ ◎	
			”	”					◎ ○	
12	中国の思想	人間論・政治論 諸子百家の思想を理解する。						◎ ○		
		”	期末調査	○				○ ◎		
		”	”					◎ ○		
3 学期	1	物語を味わう	源氏物語 登場人物についてまとめ、それぞれの行動や心情を読み取る。					◎ ○		
			”	○				◎		
			”	学年末調査	○			○ ◎		
	2		”	家庭学習						
			”	”						
			”	”						
3		”	”							
		”	”							

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ④：読む能力 ⑤：知識・理解

◆学習方法のポイント

【古典の目標】

- 古典は、長い年月を通して多くの人々の鑑賞に堪え、今もなお広く親しまれている作品です。古典の授業では、それらの作品を読むことによって、先人の優れたものの見方や考え方を学びます。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- ノートに本文を写し、古語辞典を用い口語訳していきます。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- 口語訳を利用して本文の内容理解深めます。また、古典文法や有職故実についても、その都度おさえていきます。

【家庭学習】

- 古語辞典も使用して、予習・復習を心掛けましょう。
- 授業で取りきれなかったノートは、家できちんとまとめておきましょう。

【定期考査】

- 普段の授業を大切に、日ごろから勉強しておきましょう。

【その他】

- その他、中国文学なども図書館の本を利用して読んでいきたいと思えます。平日頃から読書を心掛けましょう

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を①関心・意欲・態度 ④読む能力 ⑤知識・理解の三つの観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。	
評価の規準	1 学期	期末考査(全ての観点から評価しますが主に⑤を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に④⑤の観点から評価します。) 課題提出状況等
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に⑤を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に④⑤の観点から評価します。) 課題提出状況等
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが主に⑤を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に④⑤の観点から評価します。) 課題提出状況等
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均